

東京ブルーパスを応援しよう!
GO! GO!
ブルーパスGO!



またまた

第615号 2026年2月号
組織規勢2757人 2/1(仮)規勢
東京支部 一般労働組合
発行所 きたたま編集委員会
電話 042-363-6554(1代)
FAX 042-363-6847
<http://www.doken-fk.com/>

2026! 団結の年!



今年も団結してガンバロー!

1月23日、ホテルコンチニエン東京府中にて「2026年新春旗開き」を開催、花が咲き、小笠原書記長に挨拶をいただきました。交歓にも

総勢99名が参加し、府中国立支部の2026年が本格スタートしました。

開会にあたり松本勇一執行委員長は「私たちが東京支部中国立支部は、組合員一人ひとりが主役。声を出し合い、行動を重ねることで、暮らしと仕事を守る力

は大きくなります。今年も困ったときは東京土建を言葉に、仲間の輪を広げましょう」と年頭の決意が述べられました。その後、本部長川書記長、多摩西部支部書記長から挨拶があり、地元選出の国会議員、都議、府中国立市



高野市長とガッツリ握手



にっこり! 松本洋平文科大臣

新春旗開きに99名集う (於: ホテルコンチニエン府中)



笑顔あふれる長島昭久議員



五十嵐えり衆議院議員



増山あすか都議も元気づけ



緊張気味の岩永康代都議



今年もヨロシク! 小山都議



自由クラブは結城・備西市議



府中労連石田副議長



公明府中・奈良崎市議



多摩支部を代表して



多摩支部書記長



親方たちと、工事の過程



東京土建本部長川書記長



共産党国立市議員佐々木都部



共産党国立市議員佐々木都部

道具箱

私は20代の頃、ざっとうりターをしてみました。30歳になり、年齢的にも節目でこのままで良くないなと感じ、板金業を覚悟している父のもとで、手伝いから始めました。

最初は父や親方たちに行いて回るだけ。インパクト、サンダー、スプレー、何それ? という感じで、〇を持って来いと言われるのも分からず、道具、部品一つひとつを覚えるのに苦労しました。まだ間の人たちはベテラン勢が多く、思っていること言えず、ただただ指示に従っただけでした。時は経ち、仕事にも慣れ、任せられることも増えてきました。段取り一つで一日の工程が大きく変わってしまうので、下準備を急入りに行い、堅機工事も一人でやっています。複数の現場を掛け持つ時は、時間配分、材料を取りに行くタイミングなども計算し、その通ひに由来した喜びもひとしおです。

親方たちと、工事の過程で意見が対立した時も、理詰めで話し、納得してもらい、ことも多くなり、仕事に対して誇りを持てるようになります。

東京土建では、昨年より父会長を任せ、仕事と生活の両立を大切に、この約10年間の仕事で培ってきた経験を活かし、どちらを分念にも活かして、これからも奮闘して行きます。

(国分支部 田中 英一)

